

ライフエンジニアリングコースインターンシップ科目 履修案内

○科目について

修士課程

HCB.C431 「ライフエンジニアリング学外研修第一」 (0-0-1)	1 週間程度
HCB.C531 「ライフエンジニアリング学外研修第二」 (0-0-2)	2 週間程度
HCB.C532 「ライフエンジニアリング学外研修第三」 (0-0-4)	2.5 か月以上

講義の概要とねらい(シラバスより-全科目共通)

ライフエンジニアリングに関係の深い企業・研究機関等において、実社会を体験することの有意義性を認め、奨励する。学外研修先を決定する際には、事前に指導教員等と十分な打ち合わせを行うことが必要である。取得単位数に応じた研修期間を設定する。

博士課程

HCB.C633 「ライフエンジニアリング実践研修第一」 (0-0-1)	1 週間程度
HCB.C634 「ライフエンジニアリング実践研修第二」 (0-0-2)	2 週間程度

講義の概要とねらい(シラバスより-全科目共通)

ライフエンジニアリングに関係の深い企業・研究機関等において、実社会を体験することの有意義性を認め、奨励する。学外研修先を決定する際には、事前に指導教員等と十分な打ち合わせを行うことが必要である。取得単位数に応じた研修期間を設定する。

HCB.C631 「HCB International Internship」 (0-0-4)	2.5 か月以上
---	----------

講義の概要とねらい(シラバスより)

国内外を問わずライフエンジニアリングに関係の深い大学・企業・研究機関等において、実社会を体験することの有意義性を認め、奨励する。インターンシップ先を決定する際には、事前に指導教員等と十分な打ち合わせを行うことが必要である。

HCB.C632 「ライフエンジニアリング企業実習」 (0-2-2) (博士課程社会人対象)
--

講義の概要とねらい(シラバスより)

企業等に所属している学生が所属する学外機関におけるライフエンジニアリングに関連する実際の活動内容をまとめ、報告する。

○履修について

重要

本コースでは、申請の内容や目的等を精査し、インターンシップ科目としての認定の可否を判定します。就職活動に繋がると思われる内容等の場合は認定されない場合があるので留意すること。

インターンシップ先との契約書及び覚書の締結が不可の場合はインターンシップ科目としては認定できません。以下のようなケースがあります。

- ・インターンシップ先の事情により締結できない場合 (海外企業、機関との契約は非常に困難)
- ・締結がインターンシップ開始前までに完了できない、あるいは完了できないと見込まれる場合
- ・本学で決めたひな型に対してインターンシップ先から大幅な変更の申し出があり、大学側での検討が必要となり、結果的にインターンシップ開始前までに締結が完了できない場合

なお、本学のひな型に基づく契約書及び覚書の交渉については、原則として履修者本人に行っていただきますが、内容の変更等に関する大学への確認作業及びその調整、その後の締結作業は事務が担当します。

① インターンシップ前

- ・インターンシップ先が企業や研究機関等の場合、本学との契約が必要となるため、インターンシップ開始の遅くとも**2か月前までに**所定様式「ライフエンジニアリングコース 修士/博士インターンシップ申請書」により申請をする。(提出先: 以下担当)

※様式には必要な添付書類等が記載されているので、添付漏れ等の不備がないように注意すること。

- ・学研災・学研賠の加入が必須

・教務 Web 上より、実施した期間に応じた科目(1-2Q あるいは 3-4Q)を履修登録する。

② インターンシップ終了後 1 か月以内を目安に

・所定様式「ライフエンジニアリングコース 修士／博士インターンシップ報告書」により報告する。

(提出先: 以下担当)

※様式には必要な添付書類等が記載されているので、添付漏れ等の不備がないように注意すること。

③ 「ライフエンジニアリング企業実習」のみ以下のとおり

・教務 Web 上より、実習期間に応じた科目(1-2Q あるいは 3-4Q)を履修登録する。

・実習終了後 1 か月以内を目安に、所定様式「ライフエンジニアリング企業実習 報告書」により報告する。

(提出先: 以下担当)”

ライフエンジニアリングコース国際プレゼンテーション科目 履修案内

○科目について

修士課程

HCB.C542 「International Presentation I」

HCB.C543 「International Presentation II」

講義の概要とねらい(シラバスより-全科目共通)

ライフエンジニアリングコースの専門性を基礎として、国際会議における英語による口頭発表もしくはポスター発表を行い、国際プレゼンテーション力を養う。

博士課程

「International Presentation III 」

「International Presentation IV 」

講義の概要とねらい(シラバスより-全科目共通)

ライフエンジニアリングコースの専門性を基礎として、国際会議における英語による口頭発表もしくはポスター発表を行い、国際プレゼンテーション力を養う。さらに発表における質疑応答を通して英語でのディスカッション力を養う。

① 教務 Web 上より履修登録する。

② 国際学会・会議に参加後

・所定様式「ライフエンジニアリング国際プレゼンテーション報告書」により報告する。(提出先: 以下担当)

※様式には必要な添付書類等が記載されているので、添付漏れ等の不備がないように注意すること。

以下の担当・問い合わせ先にメールにより請求してください。その際、件名に「○○○様式希望」と記入してください。(○○○には、上記の該当する様式名を記入してください。)

なお、これらの科目の担当教員はすべてコース主任(2022 年度は山口雅浩教授)となります。

◎担当・問い合わせ先

生命理工学院事務グループ ライフエンジニアリングコース担当 塚本、江尻

E-mail: hcb.sien@jim.titech.ac.jp 内線: 5943 場所: すずかけ台キャンパス B2 棟1階 120 号室